

・・・西高宅配便・・・NO17

12月5日

1年生男子、第37回佐佐木信綱顕彰歌会で鈴鹿市長賞を受賞！

29日の土曜日の午後、鈴鹿の佐佐木信綱記念館で表彰式がありました。

本来なら、この場でその素晴らしい短歌をご披露したいところですが、本人のたつての希望で表せません。なぜって・・・「・・・恥ずかしい！！」とのこと。

思うに、恋の歌を詠んだのでしょうかねえ。若い感性は素晴らしいものです。

そのうち、一冊の本になって学校にも届くので、その時にぜひ紹介したいと思います。

彼の他にも、1年生女子4名男子2名の作品が佳作に選ばれました。

*

人権講演会のこと

スペシャルオリンピックス(S.O)って、ご存知ですか？

知的発達障がいのある人たちに、スポーツトレーニングや競技会を通して、社会参加を応援する組織です。

S.Oより3名のアスリートの皆さんと保護者、ボランティアの方々に来校していただきパフォーマンスを通して、生徒たちに生きるこの意味を問い考える機会を与えていただきました。ピアノ演奏や壮大なさを織りの作品、アスリートとして世界大会に参加されメダルを獲得されたビデオ、そしてアスリートのお母さまたちの深い話。生徒たちの感性にズシリと触れたのではないかと思います。生徒の作文の一部を抜粋します。

・・・人に比べて50%しかできない。だけど、その50%をフルに使えば、すごいことが出来る。その言葉を大切に育てたいと思った。

・・・体育館から出るときに、感謝の気持ちで頭を下げたら「ありがとうございました。」と言ってくれて、とてもうれしかった。思いっきり人生を生きているのが伝わってきた。私も思いっきり100%の力で人生を生きたい。

・・・受験が終わったらボランティアをするつもりだ。がんばろうとする意志のある人は他の人より強くなる。50%の力しか持っていない彼らは50%すべてを出し切ろうとする。100%の力を持っているのに、25%ぐらいしか、がんばれていない多くの人たちとは違うのだとあらためて感じた。